

令和4年度本庄早稲田の杜ミュージアム事業報告

I 開館日数・入館者数

- 1 開館日数
- 2 入館者数
- 3 団体見学

II 展示

- 1 本庄市展示室
- 2 早稲田大学展示室
- 3 企画展
- 4 ミニ企画展
- 5 旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース

III 教育普及

- 1 ワークショップ
- 2 講座・講演会
- 3 ガイドツアー

IV 博学連携事業

- 1 博学連携事業
- 2 早稲田大学本庄高等学院との連携事業

V その他の事業

- 1 来館者数達成記念事業
- 2 開館2周年記念事業
- 3 博物館実習

VI 資料活用

- 1 館外特別利用
- 2 特別利用

VII 資料収集

- 1 新収蔵資料

VIII 情報発信・広報等

- 1 情報発信・広報
- 2 刊行物
- 3 ミュージアムショップ

IX 本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会

- 1 運営委員会委員
- 2 運営委員会

I 開館日数・入館者数

1 開館日数

令和2年度	138日
令和3年度	306日
令和4年度	306日

2 入館者数

令和2年度	9,771名
令和3年度	17,402名
令和4年度	15,141名
累計	42,314名

3 団体見学

令和4年度

種別			団体数		人数	
				うち市内		うち市内
学校団体	小学校	3年生	8団体	8団体	418名	418名
		2～4年生	1団体	1団体	5名	5名
		5年生	3団体	1団体	158名	74名
		6年生	3団体	3団体	108名	108名
	特別支援学校		1団体	0団体	46名	0名
	大学		1団体	0団体	10名	0名
生涯学習団体等			13団体	5団体	237名	99名
その他			3団体	2団体	96名	42名
合計			33団体	20団体	1,078名	746名

Ⅱ 展示

1 本庄市展示室

(1) 埴輪の世界

1 | 概要

本庄市のマスコット「はにぼん」のモデルとなった前の山古墳出土の盾持人物埴輪や埼玉県指定史跡である宥勝寺裏埴輪窯跡出土の靱形埴輪など大型で造形的にも優れた形象埴輪を中心に、市内出土の形象埴輪を展示の中核に据え、あわせて壺形埴輪や朝鮮半島系の土器製作技法で製作された円筒埴輪など他の地域では見られない資料を展示し、市内出土埴輪の特徴を明示しています。令和4年度は、石神境古墳出土の女子人物埴輪などの展示替えを行いました。

2 | 展示構成と主な展示資料

埴輪サークル	展示点数	22点
盾持人物埴輪ほか	展示点数	17点

(2) 本庄の歩み

1 | 概要

各時代を代表する資料を市所蔵の資料のみならず、早稲田大学所蔵の資料と組み合わせて展示することで、旧石器時代から中・近世までの地域の歴史を、考古資料を通じて解説します。また、年表や映像コンテンツを活用することで、地域の歴史をよりわかりやすく紹介しています。令和4年度は、小島御手長山古墳出土の弓弭金具・弓飾金具や御堂坂2号墳出土のガラス製蜻蛉玉・丸玉・小玉の展示替えを行いました。また、ミュージアムに来館した児童が、本庄市の歴史文化により親しみをもって触れることができるよう、本庄市マスコット「はにぼん」の案内で市内の遺跡を訪ね、考古学をわかりやすく紹介する映像や、本庄の歴史を紹介する映像を子ども向けに制作し、館内で放映している映像コンテンツに追加しました。

2 | 展示構成と主な展示資料

旧石器時代	ナイフ形石器ほか	展示点数 34点
縄文時代	縄文土器ほか	展示点数 95点
弥生時代	弥生土器ほか	展示点数 14点
古墳時代	土師器ほか	展示点数 266点
飛鳥時代	ガラス小玉鑄型ほか	展示点数 14点
奈良時代	宝亀二年銘木簡ほか	展示点数 10点
平安時代	石製紡錘車ほか	展示点数 8点
鎌倉時代	複弁蓮華文軒丸瓦ほか	展示点数 9点
戦国時代	かわらけほか	展示点数 32点

本庄の歩み（年表・地図）

本庄の歴史、考古資料からみる本庄、本庄早稲田の杜ミュージアムの魅力（映像）

本庄の歴史、考古学でわかる本庄（子ども向け映像）

関連資料	武蔵国分寺跡出土単弁蓮華文軒丸瓦ほか	展示点数 11点
	アル・フスタート遺跡出土白磁碗ほか	展示点数 24点

2 早稲田大学展示室

タイトル	会期	開館日数	来場者数
山内清男コレクション受贈記念 山内清男の考古学	令和3年12月7日（火曜日） ～令和4年5月29日（日曜日）	51日 ※1	3,203名 ※1
オセアニア民族造形美術品展－ 高地・山岳地帯の極彩色豊かな 精霊と文化	令和4年6月14日（火曜日） ～令和4年9月25日（日曜日）	89日	4,977名
児玉の原点 大久保山－浅見 丘陵の人々と生活の歴史	令和4年10月8日（土曜日） ～令和5年2月5日（日曜日）	98日	4,178名
會津八一と瓦の蒐集	令和5年3月4日（土曜日）～ 令和5年6月4日（日曜日）	24日 ※2	1,263名 ※2

※1 令和4年4月1日～令和4年5月29日

※2 令和5年3月31日現在

(1) 山内清男コレクション受贈記念 山内清男の考古学

1 | 概要

山内清男博士は、「日本先史考古学の父」として知られ、先史考古学の方法論を確立するとともに、縄文時代研究を科学的に体系化し、日本の考古学界に大きな足跡を残した人物です。早稲田大学會津八一記念博物館では、2017年度に博士のご遺族から、博士の旧蔵資料を一括して寄贈を受けました。今回の企画展では、博士の研究の歩みを語るうえで重要な資料であり、研究を支えた基礎資料でありながら、今まで一般に公開されることがなかった多数の研究メモ、原稿や草稿、紙焼き写真などから現在までに整理を終えた資料を中心に公開し、博士が考古学と共に歩んだ足跡を、資料に沿って紹介しました。

2 | 会期

令和3年12月7日（火曜日）～令和4年5月29日（日曜日）

休館日 月曜日（休日の場合は翌日）

3 | 展示構成と主な展示資料

第1章 一寸ノ竜 「多摩川向ふへ」原稿、「磐城、三貫地貝塚小発掘」草稿ほか

第2章 竜驤麟振 金関丈夫 山内宛書簡、金関から譲り受けた『先史学辞典』ほか

第3章 伏竜鳳雛 武蔵高等学校開校記念祭の講演原稿、「石器時代の犬小屋」原稿ほか

第4章 飛竜乗雲 「縄文式文化について」の講演原稿ほか

第5章 画竜点睛 早稲田大学所蔵の『日本原始美術Ⅰ』掲載資料、興津式土器ほか

4 | 会期中のミュージアム入館者数 3,203名（令和4年4月1日～5月29日）

(2) オセアニア民族造形美術品展－高地・山岳地帯の極彩色豊かな精霊と文化

1 | 概要

早稲田大学が所蔵するオセアニア民族造形美術品は、今泉隆平氏が収集した民族資料で、2010年度に鶴ヶ島市から寄贈されたものです。資料はセピック川流域からパプアニューギニア北東部の資料が中心となっており、中でもセピック川流域の資料が最も多く、彫像類や仮面を中心

に、柱などの建築材、楯や槍などの武具、土器や木器といった日用品、楽器など多岐に及びます。今回の企画展では、極彩色豊かな高地・山岳地帯の精霊と文化をとりあげました。アベラム族の民族芸術には、泥絵具により彩られた精霊像や仮面、樹皮絵画があり、キミニビ族は、体に灰色の粘土を塗り泥の仮面をかぶった霊、「マッドマン」の姿に扮することで有名です。狩猟採集社会が生み出す芸術とオセアニア民族造形美術品の世界を紹介しました。

2 | 会期

令和4年6月14日（火曜日）～9月25日（日曜日）

休館日 月曜日（休日の場合は翌日）

3 | 展示構成と主な展示資料

ハイランド地方 マッドマン土面、フォレ族の舞台用仮面、儀礼用前垂れ 戦闘用楯など
アベラム族 精霊の家の精霊像、祖霊像、樹皮絵画、まぐさ飾り、豊穰祈願の像、
ヤムイモの精霊像、堀り棒、舞蹈儀礼用被り面、ングワル精霊の仮面、手持太鼓、笛など
カンボット族 屋根裏の樹皮絵画など
オセアニア民族造形美術品 展示点数 113点

4 | 会期中のミュージアム入館者数 4,977名

(3) 児玉の原点 大久保山 -浅見丘陵の人々と生活の歴史

1 | 概要

北関東を見渡す浅見丘陵は旧石器時代から人々が住み、縄文、弥生時代と続きます。古墳時代には前方後円墳の前山1号墳が造られ、宍勝寺裏埴輪窯など埴輪生産も行われました。奈良時代に村落内寺院が営まれ、平安時代には、製鉄炉が造られ、武蔵武士で最大の勢力を誇る児玉党の本拠地となりました。今回の企画展では、考古資料から人々の足跡をたどり、その意味と意義を紹介しました。

2 | 会期

令和4年10月8日（土曜日）～令和5年2月5日（日曜日）

休館日 月曜日（休日の場合は翌日）

3 | 展示構成と主な展示資料

縄文時代 縄文土器、打製石斧ほか

弥生時代 弥生土器ほか

古墳時代 土師器、馬形埴輪、大刀形埴輪ほか

飛鳥時代 土師器、石製紡錘車、金銅装耳環ほか

奈良時代 灰釉陶器、瓦塔、土製紡錘車、鉄製馬具引手、須恵器円面硯、石帯巡方ほか

平安時代 鉄製紡錘車、墨書土師器、墨書須恵器、鋳型、とりべ、埴塙、鞆羽口、鎌ほか

鎌倉時代 五輪塔、偏行唐草文軒平瓦、鉄鏃（雁股）ほか

室町時代 連珠文軒平瓦、鬼瓦ほか

戦国時代 茶臼、鉄釉天目茶碗ほか

江戸時代 肥前磁器染付椀、瀬戸刷毛目茶碗ほか

展示点数 270点

4 | 会期中のミュージアム入館者数 4,178名

(4) 會津八一と瓦の蒐集

1 | 概要

會津八一（1881～1956）は書家、歌人、東洋美術史学者であり、早稲田大学の歴史考古学の基礎を築いた人物です。八一は早稲田大学で東洋美術史の講義を受け持った際、実物資料を重要視する「実学」を主張し、学生の教育・研究用に実物資料を蒐集しました。今回の企画展では、八一が生涯を通して重視した「実学」を、八一が蒐集した各時期の日本・朝鮮・中国瓦埴（がせん）の展示を通して紹介しました。

2 | 会期

令和5年3月4日（土曜日）～令和5年6月4日（日曜日）

休館日 月曜日（休日の場合は翌日）

3 | 展示構成と主な展示資料

1章 はじまりの地、中国一瓦の誕生 饜餮文半瓦当、獸身文瓦当、朱雀文瓦当、白虎文瓦当、維天降靈銘瓦当、蕨手文馬氏萬年銘瓦当、鼎胡宮延寿銘瓦当、緑釉男瓦など

2章 個性爆発、韓半島一壮麗なる文様群 百濟扶余軍守里廢寺素弁蓮華文鏡瓦、新羅素弁蓮華文軒鏡瓦、渤海上京龍泉府ハート形蓮華文鏡瓦、高句麗平壤東大院蓮華文鏡瓦など

3章 仏教とともに、日本一奈良から東国まで 奈良飛鳥寺素弁蓮華文鏡瓦、法隆寺素弁蓮華文鏡瓦、複弁蓮華文鏡瓦、唐草文字瓦、群馬上植木廢寺単弁蓮華文字瓦、上野国分寺単弁蓮華文字瓦、東京武蔵国分寺硯転用男瓦、千葉龍角寺単弁蓮華文鏡瓦、奈良法隆寺若草伽藍跡巴文鏡瓦、唐招提寺銘鏡瓦など

4章 造形美がひかる一鬼瓦もあり 京都伝襲原離宮（山城国分尼寺）鬼瓦、中国人物文埴、馬車文埴、交龍文長方埴など

展示点数 120 点

4 | 会期中のミュージアム入館者数 1,263 名（令和5年3月4日～3月31日）

3 企画展

タイトル	会期	開館日数	来場者数
久下東・久下前遺跡展 本庄台地の大規模古代集落跡の全貌	令和4年10月8日（土曜日）～ 令和4年12月25日（日曜日）	61日	1,451名※
第3回本庄早稲田の杜地域連携 展覧会「児玉・深谷地域の古墳と 副葬品」	令和5年1月14日（土曜日）～ 令和5年3月26日（日曜日）	62日	1,482名※

※展示室内に入場した実数

(1) 久下東・久下前遺跡展 本庄台地の大規模古代集落跡の全貌

1 | 概要

本庄早稲田駅北側に広がる早稲田の杜地区。そこには竪穴住居跡だけでも700軒を超える埼玉県内でも屈指の規模を誇る古代集落跡が遺されていました。その集落跡「久下東・久下前遺跡」のムラの歴史をたどるとともに、ムラでの人々の暮らしを物語る多様で豊富な遺物から遺跡の全体像に迫りました。

2 | 主催

本庄市

3 | 会期

令和4年10月8日（土曜日）～令和4年12月25日（日曜日）

休館日 月曜日（休日の場合は翌日）

4 | 会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2F 情報資料室

5 | 展示構成と主な展示資料

- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| 1 前史およびムラのはじまり | 弥生土器、縄文土器・石器ほか59点 |
| 2 古墳時代前期のムラ | 土師器32点 |
| 3 古墳時代中期のムラ | 土師器、鉄鎌、石製紡錘車ほか22点 |
| 4 古墳時代前・中期の河川跡 | 土師器92点 |
| 5 古墳時代前・中期の墳墓 | 土師器、埴輪37点 |
| 6 古墳時代後期、飛鳥時代のムラ | 土師器、須恵器27点 |
| 7 奈良・平安時代のムラ | 土師器、須恵器11点 |
| 8 古代集落出土の生活用具 | 鉄製品、銅製帯金具、円面硯ほか90点 |
| 9 中世の遺構・遺物 | かわらけ、陶磁器片、和鏡ほか21点 |
| 10 近世の土坑墓群 | 陶磁器、銅銭ほか50点 |
| 11 久下東・久下前遺跡出土資料の自然科学分析(パネル展示) | |

展示点数 92点

6 | 会期中のミュージアム入館者数 3,149名（うち展示会場入場者1,451名）

(2) 第3回本庄早稲田の杜地域連携展覧会「児玉・深谷地域の古墳と副葬品」

1 | 概要

児玉・深谷地域は、埼玉県内でも有数の古墳密集地帯として知られています。これまでに行われてきた分布調査や発掘調査で確認された古墳の数はおよそ 1800 基に及びます。古墳の内部や墳丘周辺で検出される埋葬施設からは、銅や鉄でつくられた武器・武具や馬具、鉄製の農工具、石製・ガラス製の装飾品などさまざまな副葬品が発見されています。今回の展示では、児玉・深谷地域の代表的な古墳出土遺物を集成し、副葬品によって表象される古墳被葬者たちの社会的な地位や役割について紹介しました。

2 | 主催

本庄市・美里町・神川町・上里町・深谷市・早稲田大学

3 | 会期

令和5年1月14日（土曜日）～令和5年3月26日（日曜日）

休館日 月曜日（休日の場合は翌日）

4 | 会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2F 情報資料室

5 | 展示構成と主な展示資料

本庄市 浅見山 I 遺跡、旭・小島古墳群万年寺八幡山古墳、宮内 1 号墳等 出土資料

美里町 神明ヶ谷戸古墳、伝諏訪林古墳 出土資料

神川町 南塚原 10 号墳、南塚原 60 号墳、南塚原 72 号墳 出土資料

上里町 旭・小島古墳群浅間山古墳、帯刀古墳群、地神塚古墳 出土資料

深谷市 四十塚古墳、貉山遺跡、黒田 1 号墳、見目 1 号墳等 出土資料

展示点数 80 点

6 | 会期中のミュージアム入館者数 2,735 名（うち展示会場入場者 1,482 名）

4 ミニ企画展

タイトル	会期	開館日数	来場者数
これでキミも考古学者！	令和4年7月20日（水曜日）～令和4年8月28日（日曜日）	34日	2,258名
発掘調査のある風景 -本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業に伴う発掘調査のあゆみ	令和4年12月10日（土曜日）～令和5年2月26日（日曜日）	61日	2,161名
本庄市の遺跡 令和4年度最新出土品展	令和5年3月21日（火曜日/祝日）～令和5年5月21日（日曜日）	11日 ※	485名 ※

※ 令和5年3月31日現在

(1) これでキミも考古学者！

1 | 概要

私たちが暮らす地面の下には、昔の人が建てた家の跡や使っていた道具などが残されています。本市でも毎年発掘調査が行われていますが、発掘調査や考古学というと難解なイメージが先行してしまい身近に感じてもらえないところがあります。今回のミニ企画展は「土器」をテーマとし、土器って何？といった疑問に答えながら、土器の変遷や土器が人類にもたらした影響など分かりやすく解説することで、考古学や発掘調査に対する関心を高めるとともに、市民の埋蔵文化財保護への理解を推進する機会とするものです。夏休み期間であることから、小学生をターゲットとし、来館のきっかけづくりとするほか、郷土学習や歴史学習への関心を喚起するとともに郷土愛醸成の一助となるよう子ども向けの展示としました。

2 | 会期

令和4年7月20日（水曜日）～8月28日（日曜日）
休館日 月曜日（休日の場合は翌日）・7月24日（日）

3 | 会場

交流ひろば

4 | 展示構成と主な展示資料

縄文土器6点、弥生土器3点、土師器10点、須恵器2点

5 | 会期中のミュージアム入館者数 2,258名

(2) 発掘調査のある風景 -本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業に伴う発掘調査のあゆみ

1 | 概要

本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業に伴い平成18年度から平成24年度までのおおよそ7年間にわたって発掘調査が実施されました。その成果を公開した企画展「久下東・久下前遺跡展 -本庄台地の大規模古代集落跡の全貌」の関連展示として、発掘調査時の現場写真から、開発によって変化したまちの様子を辿るパネル展を開催しました。

2 | 会期

令和4年12月10日（土曜日）～2月26日（日曜日）
休館日 月曜日（休日の場合は翌日）

3 | 会場

交流ひろば

4 | 展示構成と主な展示資料

各年度の発掘調査区についてドローン撮影による全景写真をパネル化して時系列に展示しました。

写真パネル 13 点

5 | 会期中のミュージアム入館者数 2,161 名

(3) 本庄市の遺跡 令和4年度最新出土品展

1 | 概要

本市には 500 箇所を超える埋蔵文化財包蔵地が所在し、毎年発掘調査が行われています。発掘調査は、学術目的のほか、開発に伴い消滅してしまう遺跡を写真や図面に記録し保存しておくために実施されるもので、本市の歴史を語るうえで欠くことのできない貴重な資料が発見されています。最新出土品展は、発掘調査出土品及び関連資料を公開することで、郷土の歴史に対する関心を高めるとともに、市民の埋蔵文化財保護への理解を推進しようとするものです。今回は、令和4年度に発掘調査した6遺跡の中から秋山諏訪平遺跡(児玉町秋山)、小島本伝遺跡(小島)出土の遺物を中心に、馬型埴輪(尾部)や鈴付高坏などを展示しました。

2 | 会期

令和5年3月21日(火曜日/祝日)～5月21日(日曜日)

休館日 月曜日(休日の場合は翌日)

3 | 会場

交流ひろば

4 | 巡回展

会期 令和5年2月1日(月曜日)～3月17日(金曜日)

会場 文化財整理室文化財展示コーナー

5 | 展示構成と主な展示資料

○秋山諏訪平遺跡H地点出土資料 展示点数 21 点

杯、鈴付高坏、写真パネルほか

○小島本伝遺跡D地点出土資料 展示点数 34 点

馬形土製品、馬形埴輪片、写真パネルほか

○鷺山南遺跡B地点、東本庄遺跡B地点、西富田・四方田条里遺跡、宮西地区A地点、長沖古墳群金屋南地区D地点 展示点数 12 点

解説パネル、写真パネル

6 | 会期中のミュージアム入館者数 485 名 (令和5年3月31日現在)

5 旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース

1 | 概要

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫は、1986(明治 29)年に株式会社本庄商業銀行が資金供給の担保となった大量の繭を収容するために建設した倉庫です。中山道沿いの市街地に残る明治期の建物と併せて、中山道の宿場として繁栄した近世の本庄宿の姿と繭の集散地として賑わった近代の本庄町の姿を、実物資料と写真・解説パネルで紹介しています。

2 | 展示構成と主な展示資料

○近世の本庄宿

田村本陣休泊帳、武蔵国本庄町畑方御検地水帳、文化元年本庄宿家並図、五街道中細見記「中山道の部」(複製)、中山道分間延絵図(パネル)、正徳二年本庄宿絵図(パネル) 展示点数 7 点

○近代の本庄町

写真パネル 本庄繭市場之光景(明治 40 年)、本庄郵便局と諸井家住宅(明治 44 年)、本庄繭糸織物商組合即位記念写真(大正 4 年)、『本庄みやげ・本庄商工業家案内図』「埼玉県本庄町明細地図」(大正 3 年)、日本蚕種貯蔵会社貯蔵庫、小口組繭買入所、本庄繭市場会社、大星館製糸所、陶製繰糸鍋(大星館製糸所跡出土) 展示点数 10 点

Ⅲ 教育普及

1 ワークショップ

来館のきっかけづくりとするほか、展示物に対する関心を高めたり、展示物をより身近に感じてもらったりすることを目的にワークショップを開催しました。

(1) キッズデー - こどものためのミュージアムの日 -

1 | 概要

5月5日のこどもの日を含む6日間をキッズデーとし、子どもたちが当館に訪れ、楽しんでもらうきっかけづくりとして、未就学児でも楽しめるワークショップを開催しました。

2 | 開催プログラム (内容)

- ①古代人のアクセサリーをつくろう (勾玉づくり)
- ②ミニはにわをつくろう
- ③トートバッグをつくろう (埴輪デザインのオリジナルトートバッグづくり)
- ④土偶マグネットをつくろう (粘土でのマグネットづくり)
- ⑤はにわのぬりえをしよう (展示室の埴輪デザインの塗り絵)
- ⑥ポストカードをつくろう (埴輪のスタンプで古墳ポストカードづくり)

3 | 開催日

令和4年5月3日 (火曜日) ~8日 (日曜日)

4 | 会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター1階エントランスロビー、2階情報資料室、ギャラリー

5 | 費用 ①②200円、③100円 (ミュージアムショップで材料を購入)

6 | 定員 プログラムごとに順次実施 (当日受付/①②は先着順で整理券配布)

7 | 参加者 合計1,664名 ※複数プログラムへの参加あり

(2) はじめてのはにわづくり~ミニはにわをつくろう~

1 | 概要

埴輪は、古墳の周囲に並べられた素焼きの土製品です。古墳時代につくられ、筒の形をした円筒埴輪や人物・動物・家などをかたどった形象埴輪があります。埴輪は当館のメイン展示でもあり、笑った表情を持つ盾持人物埴輪や弓形埴輪など全国的にも例の少ない希少な埴輪を展示しています。埴輪づくりを通じて、埴輪の特徴やどんなものが埴輪でつくられているのか、埴輪からどんなことがわかるかなど、古墳時代の人々の生活に関心をもってもらうきっかけづくりとするほか、製作工程を体験することで、展示物を身近に感じてもらい、どうやって作ったのかなど展示物に対する関心を高める機会とするものです。当館のワークショップでは、焼成しなくても固まる粘土を使用し、高さ約15cmのミニ埴輪を製作しました。

2 | 開催日

第1回 令和4年6月18日 (土曜日)・19日 (日曜日)

第2回 令和4年9月23日 (金曜日)・24日 (土曜日)・25日 (日曜日)

3 | 会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2階情報資料室、ギャラリー

4 | 費用 200円（ミュージアムショップで材料を購入）

5 | 定員 第1回 1日2回 各回10名（事前申込制・先着）

第2回 1日2回（24日のみ1回） 各回10名（事前申込制・先着）

6 | 参加者 第1回38名、第2回52名

<参加者アンケートの結果：回答数86>

どこからお越しですか 市内80% 市外20%

今回のイベントをどこで知りましたか 広報67% 口コミ10% HP15% SNS1% その他6% 無回答1%

イベントの満足度を教えてください 大変満足93% 満足6% 普通1% やや不満0% 不満0%

イベントがあったら、また参加したいですか ぜひ参加したい95% 都合があれば参加したい5%

ミュージアムのイベントに参加したことがありますか ある42% ない58%

ミュージアムへの来館回数 初めて22% 2回目23% 3回以上53% 無回答2%

新型コロナウイルス感染症への対応について 十分な対策ができている83% 必要な対策ができている15% 不十分0% 無回答2%

(3) これでキミも考古学者！ - 考古学のお仕事体験

1 | 概要

令和4年7月～8月に開催したミニ企画展「これでキミも考古学者！」の関連ワークショップとして開催しました。

2 | 開催プログラム（内容）

①土器を洗おう（土器洗い体験）

②土器の拓本をとろう（鉛筆による拓本体験）

③土器マグネットづくり

④土器デザイントートバッグづくり

3 | 開催日

令和4年7月23日（土曜日）～8月28日（日曜日）のうち土日を中心に14日間

4 | 会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター1階エントランスロビー

5 | 費用 無料

6 | 定員 プログラムごとに順次実施（当日受付／先着順）

7 | 参加者 合計551名

(4) はじめての土器づくり～ミニ土器をつくろう～

1 | 概要

当館の土器づくりワークショップにはじめて参加する方を対象に、来館のきっかけづくりや、ミュージアムをより楽しんでもらい、展示物に対する理解を深めてもらうことなどを目的に、展示している土器をテーマとしたワークショップを開催しました。

当館のワークショップでは、焼成しなくても固まる粘土を使用し、オリジナルのミニ土器を製作しました。

2 | 開催日

令和4年10月22日（土曜日）・23日（日曜日）

3 | 会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター3階技術交流コーナー

4 | 費用 200円（ミュージアムショップで材料を購入）

5 | 定員 1日2回 各回10名（事前申込制・先着）

6 | 参加者 合計32名

<参加者アンケートの結果：回答数32>

どこからお越しですか 市内44% 市外56%

今回のイベントをどこで知りましたか 広報25% 口コミ38% HP31% SNS3% その他3%

イベントの満足度を教えてください 大変満足77% 満足8% 普通4% やや不満4% 不満4% 無回答3%

イベントがあったら、また参加したいですか ぜひ参加したい75% 都合があれば参加したい22% 参加したくない3%

ミュージアムのイベントに参加したことがありますか ある47% ない53%

ミュージアムへの来館回数 初めて16% 2回目34% 3回以上50%

新型コロナウイルス感染症への対応について 十分な対策ができている88% 必要な対策ができていない9% 不十分0% 無回答3%

(5) 世界にひとつだけのオリジナル勾玉づくり

1 | 概要

勾玉は、Cの字形に湾曲した形で、丸く膨らんだ一端に孔があいており、紐をとおして使用した装身具(アクセサリ)のひとつです。日本では縄文時代の遺跡から発見された例が最も古く、弥生時代、古墳時代にも作られました。材質は滑石、蠟石、ガラス、ヒスイ、メノウなど様々なものがみられます。本市でも、長沖古墳群をはじめ、複数の遺跡から発見されています。勾玉づくりを通じて、なぜこんな形をしているのか、装身具だとなぜわかったのかなど、古代の人々の生活に関心をもってもらうきっかけづくりとするほか、製作工程を体験することで、どうやって作ったのかなど展示物に対する関心を高める機会とするものです。当館のワークショップでは、比較的加工しやすい「滑石」を使用し、世界にひとつだけのオリジナルの勾玉を製作しました。

2 | 開催日

第1回 令和4年11月19日（土曜日）・20日（日曜日）

第2回 令和5年3月25日（土曜日）・26日（日曜日）

3 | 会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2階ギャラリー

4 | 費用 石材により200円または350円（ミュージアムショップで材料を購入）

5 | 定員 1日2回 各回10名（事前申込制・先着）

6 | 参加者 第1回36名、第2回47名

<参加者アンケートの結果：回答数 76>

どこからお越しですか 市内 70% 市外 30%

今回のイベントをどこで知りましたか 広報 60% 口コミ 22% HP 11% SNS 7%

イベントの満足度を教えてください 大変満足 82% 満足 17% 無回答 1%

イベントがあったら、また参加したいですか ぜひ参加したい 80% 都合があれば参加したい 20%

ミュージアムのイベントに参加したことがありますか ある 51% ない 49%

ミュージアムへの来館回数 初めて 32% 2回目 13% 3回以上 55%

2 講座・講演会

専門分野の最前線で活躍する研究者を講師に迎え、書籍等から得られる知識とは違う知的好奇心の喚起や新たな興味・関心をもつきっかけづくりを目的として講座や講演会を開催しました。また、夏休みには小学生を対象とした「こども学芸員講座」を開催しました。

(1) こども学芸員講座「これでキミもこども学芸員！ - 考古学のお仕事体験」

1 | 概要

博物館では資料の収集・保管、調査研究、展示公開、教育普及など様々な事業が行われていますが、博物館で働く学芸員の仕事内容については一般に知られていません。今回の講座では、夏休み期間を利用して小学生向けに学芸員の仕事を知らせてもらう内容とし、博物館の存在やその仕事に興味をもってもらうきっかけづくりとするものです。同時期に開催中のミニ企画展「これでキミも考古学者！」を活用しながら、考古学を素材として学芸員の仕事の一つである調査研究の一端を体験し、夏休みの自由研究や自主学習のテーマとしてもらうことで、併せて郷土の歴史や考古学に対する関心を深めてもらう機会とするものです。また、講座で制作した土器を企画展会場で展示しました。

2 | コース・講座内容

低学年コース（小学校 1～3 年生）

第 1 回 土器ってなに？土器を洗って、拓本をとろう（乾拓法）

第 2 回 土器をつくってみよう

高学年コース（小学校 4～6 年生）

第 1 回 土器ってなに？土器を洗って、拓本をとろう（湿拓法）

第 2 回 土器をつくってみよう

3 | 開催日時

低学年コース 7月27日（水曜日）・8月3日（水曜日）全2回

高学年コース 7月29日（金曜日）・8月5日（金曜日）全2回

いずれも午前10時から12時まで

4 | 会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2階情報資料室・ギャラリーほか

5 | 費用 無料

6 | 参加者 計14名

<参加者アンケートの結果：回答数 12>

どこから来ましたか 市内 67% 市外 33%

講座はどうでしたか 楽しかった 100% 普通 0% つまらなかった 0%

また参加したいですか 参加したい 92% 参加したくない 2%

ミュージアムへの来館回数 初めて 25% 2回目 17% 3回以上 58%

(2) 歴史講座「中学校社会科の授業から児玉地方の中世史を考える」

1 | 概要

本庄市は鎌倉幕府の創設に貢献のあった武士団児玉党の盤踞した地域として知られており、当館においても児玉党関連の資料として、大久保山遺跡・大久保山寺院跡出土遺物を展示しています。一方、近年、文献史学の側からは、承久の乱以降、全国に展開した児玉党系の武士が「元寇」として知られる文禄・弘安の役や南北朝の争乱等においても活躍し、わが国の歴史に少なからぬ影響を及ぼしていることが明らかにされているところです。今回の歴史講座では、長く全国各地の児玉党系武士の動向を研究している雉岡恵一氏を講師にお招きし、近年の研究成果を踏まえ、中世における児玉地方の武士の活躍についてお話しいただきました。

2 | 演題

歴史講座「中学校社会科の授業から児玉地方の中世史を考える」(全3回)

3 | 講師

雉岡 恵一氏 (本庄市文化財保護審議会委員)

4 | 開催日時

令和4年9月24日(土曜日)・10月1日(土曜日)・8日(土曜日) 午後1時30分～3時

5 | 会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター3階レクチャールーム1

6 | 費用 無料

7 | 参加者 計27名

<参加者アンケートの結果：回答数 16>

どこからお越しですか 市内 87% 市外 13%

今回の講座をどこで知りましたか 広報 67% HP 13% 口コミ 13% その他 7%

講座の満足度を教えてください 大変満足 20% 満足 53% 普通 20% やや不満 7% 不満 0%

講座があったら、また参加したいですか ぜひ参加したい 53% 都合があれば参加したい 47%

ミュージアムのイベントに参加したことがありますか ある 60% ない 40%

ミュージアムへの来館回数 初めて 40% 2回目 0% 3回以上 60%

新型コロナウイルス感染症への対応について 十分な対策ができている 40% 必要な対策ができている 60% 不十分 0%

(3) 本庄早稲田の杜ミュージアム開館2周年記念講演会

1 | 概要

開館2周年を記念し、三国志など古典中国学が専門で開館から当館名誉館長を務める渡邊義浩氏を講師に迎え、講演会を開催しました。専門分野の最前線で活躍する研究者から直接話を伺える貴重な機会となりました。

2 | 演題

「三国志 赤壁の戦い-諸葛亮の魔術」

3 | 講師

渡邊義浩氏（本庄早稲田の杜ミュージアム名誉館長／早稲田大学理事・文学学術院教授）

4 | 開催日時

令和4年10月15日（土曜日） 午後2時～3時45分

5 | 会場

早稲田大学本庄高等学院 稲稜ホール

6 | 費用 無料

7 | 参加者 81名

8 | 関連事業

- ① 特別開館 10月15日（土曜日）の開館時間を午後7時まで延長しました
- ② ミュージアムコンサート 早稲田大学津軽三味線愛好会 「三津巴」によるミュージアムコンサートを開催しました。（参加者186名）
- ③ アンケート企画 会場回付したアンケートに記入し11月30日（水）までにミュージアムに持参した方にオリジナルクリアファイルをプレゼントしました。

<参加者アンケートの結果：回答数43> ※回収率53%

どこからお越しですか 市内70% 市外30%

今回の講演会をどこで知りましたか 広報42% ミュージアム4% HP17% チラシ9% 口コミ13% SNS2% 新聞9% その他4%

講演会の満足度を教えてください 大変満足49% 満足37% 普通7% やや不満0% 不満0% 無回答7%

講演会にまた参加したいですか ぜひ参加したい67% 都合があれば参加したい33% 参加したくない0%
ミュージアムへの来館回数 初めて14% 2回目21% 3回以上65%

新型コロナウイルス感染症への対応について 十分な対策ができている49% 必要な対策ができている51% 不十分0%

(4) 本庄早稲田の杜地域連携展講演会

1 | 概要

令和5年1月～3月に開催した本庄早稲田の杜地域連携展覧会「児玉・深谷地域の古墳と副葬品」の関連講演会として開催しました。

2 | 演題

第1回「児玉・深谷地域における古墳埋葬施設の構造と変遷」

第2回「美里町神明ヶ谷戸遺跡の調査と児玉・深谷地域の前期古墳」

3 | 講師

第1回 金子 彰男 氏（神川町教育委員会）

第2回 坂本 和俊 氏（元本庄高等学校教諭）

4 | 開催日時

令和5年3月4日（土曜日）・3月18日（土曜日） 午後1時30分～3時

5 | 会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター3階レクチャールーム1

6 | 費用 無料

7 | 参加者 第1回 65名、第2回 60名

<参加者アンケートの結果：回答数 63>

どこからお越しですか 市内 35% 市外 65%

今回の講演会をどこで知りましたか 広報 37% HP 20% 口コミ 22% SNS 5% その他 15% 無回答 1%

講演会の満足度を教えてください 大変満足 27% 満足 48% 普通 13% やや不満 2% 不満 0% 無回答 10%

講演会があったら、また参加したいですか ぜひ参加したい 59% 都合があれば参加したい 33% 参加したくない 0% 無回答 8%

ミュージアムのイベントに参加したことがありますか ある 56% ない 44%

ミュージアムへの来館回数 初めて 13% 2回目 19% 3回以上 65% 無回答 3%

新型コロナウイルス感染症への対応について 十分な対策ができている 34% 必要な対策ができている 54% 不十分 2% 無回答 10%

(5) 會津八一と瓦の蒐集講演会

1 | 概要

令和5年3月から開催の「會津八一と瓦の蒐集」の関連講演会として開催しました。

2 | 演題

『會津八一の蒐集品—明器泥像から拓本まで—』

3 | 講師

下野玲子氏（早稲田大学會津八一記念博物館主任研究員）

4 | 開催日時

令和5年3月12日（日曜日） 午後2時～3時

5 | 会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター3階レクチャールーム1

6 | 費用 無料

7 | 参加者 31名

<参加者アンケートの結果：回答数 26>

どこからお越しですか 市内 50% 市外 50%

今回の講演会をどこで知りましたか 広報 52% HP 14% 口コミ 3% ミュージアム館内掲示・チラシ 14% SNS 7% その他 10%

講演会の満足度を教えてください 大変満足 31% 満足 42% 普通 15% やや不満 0% 不満 0% 無回答 12%

講演会があったら、また参加したいですか ぜひ参加したい 42% 都合があれば参加したい 54% 参加したくない 0% 無回答 4%

ミュージアムのイベントに参加したことがありますか ある 82% ない 18%

ミュージアムへの来館回数 初めて 27% 2回目 15% 3回以上 54% 無回答 4%

新型コロナウイルス感染症への対応について 十分な対策ができている 49% 必要な対策ができている 51% 不十分 0%

3 ガイドツアー

学芸員が展示資料を解説しながら見どころを紹介するイベントで、企画展来場のきっかけづくりとするほか、展示パネルを読むだけでは得られない知識を得ることで、展示に対する理解をより深めてもらう機会とするため実施しました。

(1) 企画展を深掘り！学芸員によるガイドツアー

1 | 概要

学芸員による企画展の展示解説を行う

2 | 開催日

令和4年12月10日（土）・11日（日）・17日（土）・18日（日）

3 | 会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2階情報資料室

4 | 費用 無料

5 | 参加者 56名

<参加者アンケートの結果：回答数 53>

どこからお越しですか 市内 42% 市外 58%

今回のイベントをどこで知りましたか 広報 31% 口コミ 11% HP 20% SNS 13% その他 24%
無回答 1%

イベントの満足度を教えてください 大変満足 45% 満足 47% 普通 4% やや不満 2% 不満 0% 無回答 2%

参加して理解度は深まりましたか 非常深まった 51% 深まった 45% どちらともいえない 4% 深まらなかった 0% 全く深まらなかった 0%

イベントがあったら、また参加したいですか ぜひ参加したい 55% 都合があれば参加したい 45% 参加したくない 0%

ミュージアムのイベントに参加したことがありますか ある 43% ない 57%

ミュージアムへの来館回数 初めて 45% 2回目 10% 3回以上 43% 無回答 2%

新型コロナウイルス感染症への対応について 十分な対策ができている 53% 必要な対策ができている 47% 不十分 0% 無回答 0%

IV 博学連携事業

1 博学連携事業

平成29年度告示の学習指導要領では、学校教育における博物館の利用を積極的に進めることがうたわれており、当館を郷土学習の拠点として、学校団体の積極的な受け入れをはじめ、本庄市立小・中学校を対象に見学用バスを運行するなど、来館の推進を図っています。

(1) 校外学習 - そうだ！ミュージアムに行こう

展示室の見学とワークショップ・フィールドワークを組み合わせた博学連携プログラムを実施しました。

展示室見学では、学芸員のガイドで展示室内を見学しました。内容は、「埴輪の世界」「本庄の歩み」「企画展示（早稲田大学展示室・交流ひろば等）」の3展示エリアの見学と自由見学を組み合わせ、学習目的に合わせて決定しています。見学にあたっては、感染症対策及び見学環境改善を図るためワイヤレス送受信機を活用しています。

ワークショップでは、本庄の歴史や展示物をより深く知るためのプログラムとして、市内の遺跡から出土した本物の土器や埴輪に直接触れる体験（ハンズオン）や拓本体験、勾玉や埴輪づくりを実施しました。

■来館状況・ワークショップ等実施状況

令和4年度

市内小学校 14校 605名 市外小学校 2校 84名

ハンズオン 5校 179名 勾玉づくり 10校 527名

埴輪づくり 2校 84名 史跡めぐり 1校 87名

(2) 出前授業 - 教室にミュージアムをお届け

学校では、校外学習の機会は限られており、学習の進捗に合わせての来館が難しい場合も多くあります。出前授業では、当館から実物資料を学校に持ち込むことで、教室をミニミュージアム化し、学芸員が解説を行うことで、児童・生徒が学習内容をより実感的に理解できるよう実施しました。

■実施状況

中央小学校3年生 87名（埴輪づくり）

本庄南中学校特別支援学級 13名（埴輪づくり）

本庄東中学校特別支援学級 31名（全3回：埴輪づくり、土器洗い、拓本、勾玉づくり）

2 早稲田大学本庄高等学院との連携事業

当館では、同じ早稲田大学本庄キャンパス内に立地する早稲田大学本庄高等学院との連携事業を実施しています。学芸員や教員を志望する学院生をはじめ、人に何かを伝えたり教えたりする仕事やミュージアムの事業に関心のある学院生を対象として、令和4年度は講座やワークショップの運営補助業務を体験するプログラムを実施しました。キャリア学習の一環として活動の場を提供するとともに、博学連携事業の充実を図っています。

参加者 8名

V その他の事業

1 来館者数達成記念事業

1 | 来館者 3 万人達成イベント

- (1) 開催日 令和 4 年 5 月 15 日 (日曜日)
- (2) フォトセッション 来館 3 万人目となった来場者に記念品を贈呈し、記念撮影を行いました。
- (3) 記念品配布 達成者及び前後の来館者に記念品を配布しました。

2 | 来館者 4 万人達成イベント

- (1) 開催日 令和 5 年 1 月 29 日 (日曜日)
- (2) フォトセッション 来館 4 万人目となった来場者に記念品を贈呈し、記念撮影を行いました。
- (3) 記念品配布 達成者及び前後の来館者に記念品を配布しました。

2 開館 2 周年記念事業

- 1 | 講演会 令和 4 年 10 月に渡邊義浩氏 (本庄早稲田の杜ミュージアム名誉館長 / 早稲田大学常任理事・文学学術院教授) を講師に迎え、講演会を開催しました。
- 2 | ミュージアムコンサート 早稲田大学津軽三味線愛好会 「三津巴」によるミュージアムコンサートを開催しました。

3 博物館実習

- 1 | 期間 令和 4 年 8 月 2 日 (火曜日) ~ 令和 4 年 8 月 10 日 (水曜日) のうち 7 日間
- 2 | 内容 本庄市教育委員会文化財保護課で実施した博物館実習のうち、4 日間を下記のとおり当館で実施しました。

実施日	実施場所	内容
8 月 2 日	当館	オリエンテーション、常設展・企画展実地見学、受付・監視業務、考古資料の取扱い (1)、閉館業務など
8 月 3 日	当館	こども学芸員講座補助、施設見学(早稲田大学考古資料館)など
8 月 4 日	塙保己一記念館	施設見学、講義など
8 月 5 日	文化財整理室	本庄市域の史跡調査など
8 月 6 日	当館	ワークショップ補助、考古資料の取扱い (2) など
8 月 9 日	文化財整理室	埋蔵文化財整理作業など
8 月 10 日	当館	展示実践、意見交換会など

4 他団体主催イベントへの参加

ほわフェスタ 2022 (上越新幹線開業 40 周年記念イベント)

- 1 | 開催日 令和 4 年 11 月 13 日 (日曜日)
- 2 | 内容
本物の土器で拓本をとってみよう

3 | 会場

本庄早稲田駅（駅内コンコース及び北口）

4 | 費用 無料

5 | 参加者 164名

6 | 主催 JR東日本高崎支社、本庄早稲田駅

VI 資料活用

1 館外特別利用

資料名	点数	貸出先	使用目的
唐草文軒平瓦（真鏡寺後遺跡出土）	1点	神奈川県立歴史博物館	令和4年度特別展「永福寺と鎌倉御家人」に出品展示のため
唐草文軒平瓦（羽根倉南遺跡出土）	1点		
唐草文軒平瓦（久下前遺跡出土）	1点		
三鱗文平瓦（大久保山寺院跡出土）	1点		
諏訪道満古墳出土家形埴輪	1点	埼玉県立さきたま史跡の博物館	令和4年度企画展「家形埴輪」に出品展示のため
石神境古墳出土家形埴輪	1点		
小島御手長山古墳出土家形埴輪	1点		

2 特別利用

資料名	点数	使用目的
石神境古墳出土家形埴輪 諏訪道満古墳出土家形埴輪	2点	調査研究のため
諏訪道満古墳出土家形埴輪	1点	調査研究のため
田村本陣休泊帳	28点	調査研究のため
久下前遺跡ほか土師器甕	18点	資料撮影のため
公卿塚古墳出土埴輪 金鑽神社古墳出土埴輪 旭・小島古墳群 長沖古墳群 塚合古墳群東小2号墳出土埴輪	一括 一括 一括 一括 一括	調査研究のため
田村本陣文書	2点	本庄公民館主催歴史講座資料として
久下東・久下前遺跡出土土師器	一括	調査研究のため
真鏡寺後遺跡出土中世瓦 城の内遺跡出土中世瓦 東本庄遺跡出土中世瓦	一括 一括 一括	調査研究のため
御手長山古墳出土家形埴輪	1点	資料撮影のため
旭小島古墳群御手長山古墳・前の山古墳・山の神古墳他出土埴輪	一括	調査研究のため
盾持人物埴輪 壺を運ぶ女子人物埴輪 鞞形埴輪	1点 1点 1点	調査研究のため
田村本陣文書	2点	調査研究のため
南諸井家寄贈考古資料	一括	調査研究のため

Ⅶ 資料収集

1 新収蔵資料

資料名	点数	
本庄西小学校関係資料	2点	寄贈

Ⅷ 情報発信・広報等

1 情報発信・広報

市広報や公式ホームページ、インスタグラムを通じて、当館の展覧会やワークショップ等の開催情報をはじめ、本庄市の歴史や文化財施設に関する情報等を広く情報発信しています。

(1) 公式ホームページ

- 1 | ページURL <https://www.hwmm.jp/>
- 2 | 開設日 令和2年10月15日

(2) インスタグラム

- 1 | アカウント名 honjo_bunkazai
- 2 | ページURL https://instagram.com/honjo_bunkazai
- 3 | 開設日 令和3年2月1日
- 4 | 投稿数 122 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)
- 5 | フォロワー数 900 ※令和5年3月31日現在

2 刊行物

調査研究報告2

- [論文] 児玉地域における古墳時代前期の土器様相(中) - 女堀川・旧赤根川流域の古墳時代前期の土器の分析を中心として - / 松本 完
- [論文] 児玉党庄氏の承久の乱での立場とその後の在京人・西遷御家人としての政治的活動 - 執権政治の確立期における北武蔵御家人の在京活動と関連させて - / 雉岡 恵一

3 ミュージアムショップ

当館では、来館者サービスの一環としてミュージアムショップを併設し、常設展示図録をはじめ、当館のオリジナルグッズ等を販売しています。

■販売実績(令和4年度)

当館オリジナルグッズ 2,804点 507,050円
文化財保護課刊行物 372点 192,000円
その他 494点 254,380円

IX 本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会

本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会は、本庄早稲田の杜ミュージアムの設置及び管理に関する条例第14条に基づき、当館の円滑な運営を図るため、教育委員会の附属機関として設置されています。委員会は、学校教育の関係者、社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者及び学識経験のある者からなる10名以内の委員によって組織され、任期は2年です。

1 運営委員会委員

1) 任期 令和2年10月15日から令和4年10月14日まで

委員名簿 ※令和4年6月2日時点

委員長	佐々木 正峰	国立科学博物館顧問
副委員長	近藤 二郎	早稲田大学名誉教授
委員	芦沢 吉一	心豊かな子どもの育つふるさとづくりの会会長
委員	内田 英亮	本庄市社会教育委員
委員	岡村 和美	本庄市立本庄南小学校校長（令和4年5月1日就任）
委員	栗原 完	本庄市教育委員会事務局学校教育課指導主事
委員	谷田 裕之	本庄市PTA連合会元会長
委員	根岸 久	本庄市文化財保護審議会委員
委員	松本 光司	埼玉県教育局市町村支援部文化資源課課長（令和4年5月1日就任）

2) 任期 令和4年10月15日から令和6年10月14日まで

委員名簿 ※令和4年10月15日時点

委員長	佐々木 正峰	国立科学博物館顧問
副委員長	近藤 二郎	早稲田大学名誉教授
委員	芦沢 吉一	心豊かな子どもの育つふるさとづくりの会会長
委員	内田 英亮	本庄市社会教育委員
委員	岡村 和美	本庄市立本庄南小学校校長
委員	雉岡 恵一	本庄市文化財保護審議会副委員長
委員	栗岡 眞理子	埼玉県立さきたま史跡の博物館館長
委員	栗原 完	本庄市教育委員会事務局学校教育課指導主事
委員	根岸 久	本庄市文化財保護審議会委員長
委員	山田 英希	本庄市PTA連合会会長

*敬称省略

2 運営委員会

1 | 令和4年度第1回本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会

開催日時 令和4年6月2日（木曜日）午後2時～午後3時

開催場所 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンターN405 会議室

出席者（委員）岡村委員・内田委員・谷田委員・芦沢委員・近藤委員・佐々木委員・根岸委員
（事務局）下野戸教育長・高橋事務局長・折茂課長・細野課長補佐・山田課長補佐・松橋主査

欠席者（委員）栗原委員・松本委員

会議内容 委嘱状交付

諮問

議事 ①報告 令和3年度事業報告・令和4年度事業計画

②審議 第1号 本庄早稲田の杜ミュージアムの事業評価について

第2号 学校法人早稲田大学との事業継続について

2 | 令和4年度第2回本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会

開催日時 令和4年7月27日（水曜日）午後2時～午後3時

開催場所 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンターN406 会議室

出席者（委員）岡村委員・栗原委員・内田委員・谷田委員・近藤委員・佐々木委員

（事務局）高橋事務局長・折茂課長・細野補佐・山田補佐・松橋主査

欠席者（委員）芦沢委員・根岸委員・松本委員

会議内容 議事 審議 第1号 本庄早稲田の杜ミュージアムの事業評価について

第2号 学校法人早稲田大学との事業継続について